

麗しく荘厳な山笠、
福智・伊方に集結。

まさに、「麗」。



1 やすらぎ館での山笠競演会には5基の山笠が集結。2 赤坂神社から神輿を担ぎ出す氏子。3 昇き棒を押し合う両山笠。4 力を合わせ急な坂道を登り切った山笠。5 最終日に白髪神社前で奉納された獅子舞と稚児舞。6 獅子に頭を噛まれた子どもは健康に育つと伝えられている。7 士気を高めた笛の音色。8 力を振り絞り、休まずに白髪神社の長い階段を上った氏子。9 大人顔負けの指揮で昇き手を鼓舞する子ども。10 過ぎゆく祭りを惜しむ後ろ姿。



福智流

赤坂・白髪神社神幸祭

照り付ける太陽が燦々と輝く5月4・5日、伊方地区で「赤坂白髪神社神幸祭」が行われました。この日のために帰郷する人も多いこの祭り。勇壮な昇き手が「オーラーヤツサー」と大きな雄叫びを上げながら、暑さに負けない熱気で町内を練り歩きました。初日の夜には、5基の電飾山笠がやすらぎ館に集結し、競演会を開催。煌々と輝く「麗しい」山笠の競演は、町内外から訪れた観衆を魅了。大型連休中の風物詩として、地区全体を盛り上げました。

神幸祭に彩り添える子ども会の神輿と獅子舞



神幸祭期間中、毎年目を引く東古門の「こども神輿」と獅子舞保存会も協力する中古門の「獅子舞・稚児舞奉納」。両子ども会によるこの取組で、子どもたちの満面の笑顔が祭りに彩りを加えます。青年団が中心に活動する伊方地区で、子どもが楽しむ地域の慣習の一つとして根付いています。



西流會 | SEIRYUKAI

会長交代を機に山笠人形を賤ヶ岳の戦いから本能寺の変に一新した「西流會」。若い昇き手が多く、祭り全体に活気を与えました。



栄友会 | EIYUKAI

あしらった花が印象的な「栄友会」。中古門地区青年団では、地区外の参加も積極的に受け入れる温かい雰囲気づくりに努めています。



新友會 | SHINYUKAI

新門地区・桑野さん制作の破風が特徴の「新友會」山笠。祭りを楽しみつつ、制作中の事故から教訓を得た、安全第一の運行を心がけました。



後谷山笠同好会 | USHIROTANI

人形飾り以外の工程を自分たちで行った「後谷山笠同好会」。新元号・令和も配置し、時代変遷を表現した個性的な山笠が目を引きました。



童心会 | DOSHINKAI

子どもが主役の「童心会」は小さな力でも動かせるように山笠を軽く設計。今年は外国人参加者も受け入れ、日本文化を広く伝えました。



東和会 | TOWAKAI

頭を垂れる稲穂を表現した馬簾を、伊方地区の山笠で唯一使用する「東和会」。五穀豊穡を祈る春祭りの伝統を重んじた山笠を建立。



誠遊會 | SEIYUKAI

2年ぶりの参加となった「誠遊會」。他地区が日本の合戦絵巻の人形を使用する中、三国志を題材とした珍しい山笠を満を持して披露。



酒友會 | SHUYUKAI

お酒をたしなむ仲間で作成された「酒友会」。キーワードのお酒から発想を得た酒呑童子の人形飾りと深紅の法被が存在感を放ちました。

